



真剣な表情で受講する学級生

寿学級・女性ふれあいセミナー 議場で町長に質問をしました

町教育委員会では1月17日、役場議場を会場に「町長と語る」と題して寿学級・女性ふれあいセミナー合同学習会が開催されました。

この講座は町の現状と今後の計画を知ることと町の将来の展望のため、学級生からの質問等について、直接町長と語り合う事を目的に、年1回町長を招いて開催。昨年までは中央公民館を会場に行っていました。今回から会場を新たに議場に移し関係課長も出席のうえ議会形式で進められました。

今回の学習会では、寿学級の青山清さんが議長役を務めて進行。まず最初に恩田町長が登壇し自己紹介と町政の

現状と課題等を報告。次に寿学級の泉田光一さんが登壇し「国道122号線バイパスについてと昭和橋、122号線の工事について、122号線の安全確保について」質問し、続く寿学級の関口アキさんは「東部地区の活性化について」の質問を読み上げ、そして、最後に同じく寿学級の高瀬三郎さんが「町の防



一般質問する高瀬三郎さん

犯対策について」と「介護保険施設について」の2件を質問し、さながら本物の議会のよう張りつめた雰囲気の中で町長に尋ねました。

町長は質問に随時登壇し、町の現状や今後の展望等を説明し、また関係機関への要望などを約束。傍聴席や議員席で傍聴した約60人の学級生の皆さんは、真剣な表情で聞き入っていました。

女性ふれあいセミナー学級の竹内好美さんは「議場に入る機会は、学級生もあまり経験がないと思います、この緊張感の中で直接町長さんから町政に対する考えを伺うことができてよかったです」と感想を話してくれました。

17年度成人式 134人が門出を祝う



友人との再会に皆笑顔があふれる

第8回明和町成人式が1月8日、ふるさと産業文化館で厳粛に行われ、男性72人女性62人の合わせて134人が新たに大人の仲間入りをしました。

開幕は、明和太鼓稲妻会による和太鼓の音で始まり、今年から新たに司会を任せられた、新成人の野中崇充さんと磯敦子さん二人の進行で進んだ式典のなかで恩田町長は「自分の世界をしっかりと見つけ、責任を持って行動し見失うこ

となく人生を自分自身の手で邁進してください」と祝辞を贈りました。また矢口県議会議員や金子町議会議長ら来賓祝辞に続き、答辞では新成人を代表して洪澤健輔さん、堂元沙織さんがそれぞれの決意を語りました。

式が終わり、ステージでの記念写真を済ませると、色鮮やかな振り袖やスーツ、袴姿の新成人らは、久しぶりに会う友人らと写真を撮りあつたり、思い出話に花を咲かせる



答辞で決意を語った
左から洪澤さん堂本さん

など、会場内のあちらこちらで再会を喜び合う笑い声であふれていました。